

平成 28 年度 地方独立行政法人山梨県立病院機構 業務実績評価（概要）

機構が評価委員会に提出した業務実績報告書に基づき、平成 29 年 9 月 5 日に評価委員会から知事に業務実績評価書が提出された。その概要は次のとおりである。

< 全体評価 >

- ・総評として、平成 28 年度の中期計画の実施状況は優れていると評価する。

< 項目別評価（40 項目） >

評 価		評価項目数		
		H 2 7	H 2 8	増減
特に優れている	S	1 2	1 3	1
優れている	A	1 5	1 6	1
順調である	B	1 3	1 1	△ 2
劣っている	C	0	0	0
著しく劣っており、大幅な改善が必要	D	0	0	0

○ 実施状況が特に優れていると評価された項目（評価 S）及び評価理由

① (1) 救命救急医療

三次救急医療を担う救命救急センターと各診療科が連携を図り、迅速で効率的な治療を行った。また、甲府地区の初期救急における深夜帯診療が中止されたため、二次救急当番日には、初期救急の患者の受け入れを開始した。さらに、ドクターヘリ及びドクターカーによる救命救急活動を実施した。

② (2) 周産期母子医療（A→S）

他の医療機関と連携し、県内多くのハイリスク妊婦等を受け入れ、専門的な医療を提供した。また、分娩室の整備など入院環境の整備が進展していることは評価する。

③ (3) がん医療

治療件数、手術件数が増加するとともに、遺伝カウンセリングも急増しており、さらなる充実を期待する。また、看護外来の利用者が急増しており、より一層の看護師の活躍に期待する。

④ (7) 精神科救急・急性期医療

精神科医療の 24 時間化を実現していること、また、多職種で、総合的で一貫した医療を提供していることは評価する。

⑤ (8) 児童思春期精神科医療（A→S）

看護配置の充実や専従のコメディカルの配置など児童思春期精神科医療の充実は高く評価する。家族をしっかり支えていくことは当事者本人に好影響が期待できるため、評

価する。

⑥ (12) 医療従事者の育成、確保及び定着

感染症専門医、ダヴィンチのエキスパートなど優秀な人材を確保できていることは評価する。また、Medical&Surgical Ground Rounds (MSGR) の開催により建設的な講義や討論を通じて医療水準の向上に努めていることは評価する。さらに、中央病院精神科の医師複数体制の実現とその実績は評価する。

⑦ (13) 7対1看護体制への柔軟な対応 (A→S)

パートナーシップ・ナーシング・システムが定着し、平成28年度の新規採用看護師の離職が無かったことは評価する。また、宿泊研修など積極的な研修の企画の充実は評価する。今後、タスクシフティング（医療行為の一部の他の職種への委譲）が検討される中、資質向上に向けた一層の努力を期待する。

⑧ (14) 医療の標準化と最適な医療の提供

退院後の不安等の解消のため「退院支援」の取り組みが行われていることは評価する。DPC情報を有効に活用し、最適な医療に努めていることは評価する。今後はDPC算定基準に沿ったクリニカルパスの作成に向けた取り組みを期待する。また、DPCの調整係数が廃止される影響の吸収の努力を期待する。

⑨ (23) 医療に関する調査及び研究

治験の事務手続きの一元化などにより、多くの治験を行っていることは評価する。また、看護職が積極的に研究に取り組んでいることは、看護の質向上につながる重要な取り組みであるため、評価する。多職種が連携した研究にも期待する。

⑩ (26) 地域医療機関との協力体制の強化

県内初の地域医療支援病院として承認され、地域連携センターを中心に、連携強化を図っていることは評価する。今後、地域医療機関との更なる協力体制の構築及び機能分化を図ることを期待する。

⑩ (32) 経営基盤を安定化するための収入の確保、費用の節減

DPC担当による診療報酬の適正化、未収患者に対する柔軟な発想による請求方法の変更の取り組み、診療材料の共同購入など積極的に取り組んでいることは評価する。

⑪ (36) 予算、収支計画、資金計画、短期借入金の限度額

増収、増益、支出の減少は評価する。しかし、固定費のうち診療材料費等は、収入とリンクする度合いが強いが、人件費は必ずしも収入増とリンクしないため、今後、必要な人材の確保を図りつつ、給与費抑制の検討など、さらなる人件費の抑制を期待する。

⑫ (37) 保健医療行政への協力

がん診療連携拠点病院、救命救急センター、総合周産期母子医療センター、難病医療拠点病院、医療観察法の指定入院医療機関など、県下の基幹病院として県全体の医療行政に協力するとともに、県主催の委員会へ多くの委員を派遣していることなど、その使命を果たしていることを評価する。今後も引き続きの取り組みを期待する。